

備前市病院事業の概要

1. 事業概要

平成23年3月31日現在

1 団 体 名	備 前 市			
2 組 織 名	備前市立備前病院	備前市立日生病院	備前市立吉永病院	介護老人保健施設 備前さつき苑
3 事 業 名	病院事業	病院事業	病院事業	病院事業（老健外事業）
4 管 理 者	院長 藤田保男	院長 清利省三	院長 荻野健次	苑長 藤田保男
5 所 在 地	備前市伊部2245	備前市日生町 寒河2570-41	備前市吉永町 吉永中563-4	備前市伊部2231-1
6 職 員 数 (うち臨時・非常勤)	130人 (46人)	99人 (43人)	140人 (64人)	51人 (20人)
7 病 床 数・定員	一般 100床	一般 40床 療養 52床	一般 50床	定員80人
8 診 療 科	15科	11科	19科	介護保険事業

2. 業務量

平成22年度

(単位：人、%、日)

区 分	備前市立備前病院	備前市立日生病院	備前市立吉永病院	介護老人保健施設 備前さつき苑
1 延入院(入所)患者数	24,446	27,175	17,105	26,370
2 一日平均入院(入所)患者数	67.0	74.5	46.9	72.2
3 延外来(通所)患者数	48,613	51,414	106,837	4,397
4 一日平均外来(通所)患者数	165.4	211.6	363.4	18.1
5 病床(療養室)利用率 ※一般病床のみ	67.0	80.7	93.7	90.3
6 平均在院(入所)日数 ※一般病床のみ	19.6	14.7	16.0	69.9

3. 財務状況

(1) 貸借対照表

平成23年3月31日現在

(単位：千円)

区 分	備前市立備前病院	備前市立日生病院	備前市立吉永病院	介護老人保健施設 備前さつき苑
1 総 資 産	1,857,157	2,834,174	3,820,217	1,145,960
うち流動資産	642,700	686,351	1,864,275	429,949
2 負 債	228,682	59,860	133,284	20,636
うち流動負債	228,682	59,860	133,284	20,636
3 資 本	1,628,475	2,774,314	3,686,933	1,125,324
4 累積剰余金(△欠損金)	△640,572	111,512	△137,573	△107,479

(2) 損益計算書

平成22年度

(単位：千円)

区 分	備前市立備前病院	備前市立日生病院	備前市立吉永病院	介護老人保健施設 備前さつき苑
1 総 収 入 ※医業収入+医業外収入+特別利益	1,240,289	1,297,878	1,816,230	381,802
2 経 常 損 益 ※経常収益-経常費用	△64,957	26,924	59,801	△18,687
3 当 期 損 益 ※総収入-総費用	△74,384	24,181	55,830	△18,719
4 減 価 償 却 費	64,970	107,551	104,702	37,394
5 減価償却前当期損益	△9,414	131,732	160,532	18,675

4. 一般会計等の関与

平成22年度繰出金

(単位：千円)

区 分	備前市立備前病院	備前市立日生病院	備前市立吉永病院	介護老人保健施設 備前さつき苑
計	100,288	192,759	79,461	39,279
うち基準内繰出金	100,288	192,759	79,461	
うち基準外繰出金				39,279

5. 起債残高等

平成23年3月31日現在

(単位：千円)

区 分	備前市立備前病院	備前市立日生病院	備前市立吉永病院	介護老人保健施設 備前さつき苑
1 企業債 (うち公的資金)	469,753 (469,753)	1,820,134 (1,820,134)	1,391,000 (1,391,000)	714,518 (714,518)
2 借入金				
3 その他金銭債務				

6. 人件費率

平成22年度

(単位：千円、%)

区 分	備前市立備前病院	備前市立日生病院	備前市立吉永病院	介護老人保健施設 備前さつき苑
1 給与等を含む	809,493	597,068	830,875	236,985
2 人件費率 ※給与費÷医業収益×100	68.9	48.6	47.2	65.0

7. 改革プランの進捗状況の点検・評価

(1) 点検・評価の方法

各病院において進捗状況の点検及び自己評価を行い、経営評価委員会で意見聴取した。

経営評価委員会委員（敬称略）

氏 名	役 職 等	備 考
委員長 水野三生	備前市国民健康保険運営協議会会長	
副委員長 駒沢勝	和気医師会会長	
委員 小寺良成	岡山県備前保健所長	
委員 山谷富美枝	岡山県看護協会会長	
委員 小橋仙敬	小橋公認会計士総合事務所	
委員 多田憲一郎	岡山商科大学経済学部教授	
委員 中村守勝	備前市社会福祉協議会事務局長	

(2) 経営評価委員会での主な質疑・応答

① 市立3病院の経営形態の見直しは怎么样了のか。

備前市病院事業検討委員会から平成22年12月15日付けで、「吉永病院については、特に運営方針や診療体制に独自性を持っていることを重視し、地方独立行政法人化について専門的な研究を行い、方向性を検討されたい。備前病院と日生病院については、引き続き経営統合を含めた経営形態のあり方について研究されたい。」との答申がなされました。市では、この答申を尊重し、平成25年度を目途に検討することとしています。

② 医師確保の見直しは怎么样了のか。

岡山大学のご協力により、平成23年10月から備前病院に外科医を2名、日生病院に循環器内科の医師を1名を採用できる見通しですが、まだまだ常勤医の確保は困難な状況にあります。平成23年度に医師確保に向けた修学資金貸与制度を創設する予定ですが、成果が現れるのは先の話ですので、岡山大学や基幹病院等の協力を得て、あらゆる情報を活用して確保に努めたいと思います。

③ 看護師の有資格者の人数をみると足りているように見えるが、現実には未就業者がたいへん多い状況だろうと思う。子育て中の人や家庭にいる有資格者を探して、研修をしながらパートから長時間勤務できるような体制を検討してはどうか。

ご指摘のように未就業の看護師の復職を促すため、保育園や幼稚園などに求人ポスターなどをお願いしています。また、復職に際しては、就業時間の調整、院内保育所の整備、研修も必要なことから、看護協会等のご協力を得ながら支援したいと考えています。

④ 産科は開設できないのか。

岡山県から、岡山大学病院のオープン病院として、週1回程度の産科外来、妊婦外来を設置し、出産は岡山大学病院で行うという提案を受け検討していますが、検診だけを備前市の病院で行い、出産先も岡山大学病院に限られるという形で、果たしてどれくらいの利用があるのかということで、まだ結論には至っておりません。

⑤ 泌尿器科などに特化した最先端の医療が提供できる病院は考えられないか。

遺伝子治療などの最先端医療の話もお聞きしていますので、今後岡山大学等と協議したいと思います。

⑥ 職員の人事異動を3年、4年で行うという人事システムの見直しは考えているのか。事務職にも核となる人材育成が必要なのではないか。

事務職については、市の人事異動により3年、4年のローテーションで人事異動がありますので、ご指摘のように人材育成の見地から見直しが必要と考えています。特に、医事部門の職員については、その専門性を考慮し、人事異動のないプロパーでの採用を行う予定です。

⑦ 新病院ではどのような省エネ対策がなされるのか。

空調設備は電気式ヒートポンプマルチパッケージに氷蓄熱型方式を併用、窓は全館ペアガラス、照明は一部にLEDを採用する予定です。

⑧ 繰入れや公的資金の投入に承えられるよう患者や市民の要望を把握し、サービス面での向上に努めていただきたい。

公立病院の使命として、救急医療やへき地医療などの不採算部門のほか、予防的医療や保健、介護、福祉を含めた地域包括ケアを提供しなければなりません。そのため、患者の満足度調査を継続的に実施し、要望の把握とサービス向上に努めてまいります。

(3) 点検・評価結果

別紙「備前市病院事業改革プラン進捗状況評価シート」参照

8. 事業評価等の実施状況

別紙「備前市施策評価シート」参照

平成23年度備前市病院事業改革プラン進捗状況評価シート

病院名	備前病院
-----	------

1. 具体的な取組状況

区 分	実施スケジュール	進 捗 状 況	進捗状況 ● 実施済 ○ 着手済 △ 検討中 未 未実施	自己評価	点検・評価・意見
○職員の意識改革					
院内会議等を通じて、職員に経営状況の理解を徹底し、年度ごとの経営計画を策定の上、経営目標を設定します。	毎年度	年度当初に経営計画を策定し経営目標を設定のうえ、毎月の運営会議で、経理状況、患者数、業務量の動向について資料を配布し経営状況を説明している。	○	・一部達成 ・継続実施	今の医療制度は、やればやるだけ収益は伸びる制度となっているが、公立病院である以上、経営黒字だけを目標にするのではなく、いかに市民や患者に貢献できるのかという視点で考えた方が、職員のモチベーションはあがるのではないかと。そういう理念をもって頑張っていただきたい。
市民の視点、患者の視点に立ち、接遇研修を継続的に実施して職員のサービス意識の高揚を図ります。	毎年度	全職員を対象とした接遇研修を年2回実施中。病院の窓口となる事務部門は、毎朝、接遇テーマの朗読、ショート・ロールプレイングを実施中。	○	・一部達成 ・継続実施	事務職員のプロを育てなければいけない。人事システムを見直しされたい。
患者満足度調査を継続的に実施し、サービスの向上に努めます。	毎年度	継続的に患者満足度アンケート調査を実施し、結果を全部署に回覧のうえ、サービス意識の向上を徹底している。	○	・一部達成 ・継続実施	患者の満足度調査により、要望を適切に把握してサービスの向上を図り、市民に必要な病院と認められるよう努力されたい。
○ 事業規模、形態の見直し					
病床数を一般100床から一般90床に減床します	23年度	新病院開院時から一般100床を一般90床に減床する予定。	○	・未達成	
日生病院との経営統合を含めた今後の経営形態のあり方について研究します。	23~24年度	平成24年度末を目途に経営形態のあり方について研究中。	○	・未達成	経営責任を明確化するため、経営形態の変化は必要である。
○ 医師確保対策					
大学医局、基幹病院への派遣協力要請を強化し、確保します。	毎年度	随時実施中。22年度は糖尿病外来の非常勤医師を確保できたが、常勤医師確保の成果なし。	○	・一部達成 ・継続実施	医師や看護師を安定的に確保するには人づくりの戦略が必要。地域医療に情熱を持ち、病院にずっといて、核となる人材を作れば人は集まるのではないかと。
退職医師等の情報を収集し、確保します。	毎年度	各種関係協議会等で情報収集に努めているが、22年度は成果なし。	○	・未達成 ・継続実施	
修学資金等貸与制度の創設について検討します。	23年度	23年度中に制度化し、24年度から実施予定。	○	・未達成	
勤務形態や給与等の勤務条件の改善について検討します。	毎年度	22年度に宿日直手当を改正し、23年度に管理職手当の改正を予定している。	○	・一部達成 ・継続実施	
○ 看護師等確保対策					
修学資金等貸与制度を導入します。	23年度	22年度に制度化し、23年度から実施中。	●	・達成 ・継続実施	・長期的な視点から奨学金制度を創設した点は評価するが、短期的な面でも積極的に取り組まされたい。
ナースセンターへの登録や看護フェアへの参加など、あらゆる求人機会を活用します。	毎年度	ナースセンターへは登録済み。23年度から看護就職フェアへ参加予定。	○	・未達成 ・継続実施	
勤務形態や給与等の勤務条件を改善し、離職防止に努めます。	毎年度	夜間看護手当の改正を検討中。	○	・一部達成 ・継続実施	
○ 民間的経営手法の導入					
委託経費の増高に注意を払い、更なる業務委託の余地を検討します。	毎年度	委託料の実績 20年度 108,043千円 21年度 100,885千円 22年度 105,326千円	○	・一部達成 ・継続実施	・継続的に対策を検討されたい。
○ 経費節減・抑制対策					

区 分	実施スケジュール	進 捗 状 況	進捗状況 ● 実施済 ○ 着手済 △ 検討中 未 未実施	自己評価	点検・評価・意見
市立3病院間の医師派遣により人件費の節減を図ります。	毎年度	18年度から脳神経外科医を日生病院に派遣中。	○	・一部達成 ・継続実施	市立3病院の人事交流、連携、ネットワークを強化し、費用の共通化を図られたい。
省エネ対策の徹底	毎年度	新病院は、全館ペアガラス、一部にLED照明を採用。 19年度から電力量のデマンド管理を実施中。 ・光熱水費実績 20年度 26,364千円 21年度 24,943千円 22年度 25,737千円 ・燃料費実績 20年度 6,130千円 21年度 4,858千円 22年度 5,431千円	○	・一部達成 ・継続実施	
市立3病院で材料費や各種経費の共同発注、共同仕入れ、複数年契約等を行い節減します。	毎年度	医療廃棄物の運搬処理委託、在宅酸素提供機器及びタオルの賃借業務を共同発注、契約を一本化。	○	・一部達成 ・継続実施	
業務委託内容の見直します。	毎年度	20年度から給食委託業務の複数年契約を実施。	○	・一部達成 ・継続実施	
職員による軽微修繕、自前印刷に努めます。	毎年度	長期間使用中の高度医療機器の故障が頻発しているが、できる限り長期使用に努める。 ・修繕料 20年度 9,461千円 21年度 24,164千円（透視装置管球交換） 22年度 11,244千円 ・印刷製本費 20年度 3,980千円 21年度 3,749千円 22年度 3,024千円	○	・一部達成 ・継続実施	
○ 収入増加・確保対策					
病診連携、病々連携を推進し、紹介率及び逆紹介率のアップを図ります。	毎年度	ホームページに地域連携室の業務内容について掲載し、周知を図る。 ・紹介率 20年度 20.4% 21年度 25.3% 22年度 24.2% ・逆紹介率 20年度 13.3% 21年度 19.6% 22年度 17.9%	○	・一部達成 ・継続実施	地元医師会と積極的に交流を持ち、地域連携を図られたい。
亜急性期病床を10床設置します。	23年度	新病院開院時に実施予定。	○	・未達成	
有償病床を6床から27床に増設します。	23年度	新病院開院時に実施予定。	○	・未達成	
透析病床13床を15～20床に増床します。	23年度	新病院開院時に実施予定。	○	・未達成	
発熱外来室、陰圧室（2床）を設置します。	23年度	新病院開院時に実施予定。	○	・未達成	
新患獲得に向け、健診・人間ドックの受診者の増加を図ります。	毎年度	1日当たりの健診、ドック受入人数を見直しする予定。 ・健診件数 21年度 650件 22年度 697件 ・人間ドック件数 21年度 203件 22年度 207件	○	・一部達成 ・継続実施	
専門外来の設置を検討します。	毎年度	22年度から糖尿病外来（週2回）を実施中。	○	・一部達成 ・継続実施	
一部負担金等未収金の収納強化を図ります。	毎年度	収納率 ・現年分 21年度 96.8% 22年度 96.8% ・過年分 21年度 44.5% 22年度 52.4%	○	・一部達成 ・継続実施	
○その他					
電子カルテシステムを導入し、待ち時間の短縮、業務の効率化を図ります。	23年度	23年度に導入し、24年度から運用予定。	○	・未達成	
東備西播定住自立圏共生ビジョンに基づく医療連携を図ります。	22～26年度	22年度から赤穂市民病院を中心とした医療連携研修を実施中。	○	・一部達成 ・継続実施	

(注) 評価基準

- ・達成…計画した取組事項を実施し、具体的な成果が現れている。
- ・一部達成…計画した取組事項を実施し、一部に成果が現れている。
- ・未達成…計画した取組事項を実施していない。または、計画した取組事項を実施したが、成果が現れていない。

2. 財務に係る数値目標

(単位：%)

区	分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	自己評価	点検・評価・意見
経常収支比率	計画	87.6	87.5	102.7	100.4	100.6	・未達成 ・入院患者数の増加を図る。	
	実績	92.0	95.0					
職員給与比率	計画	66.3	68.3	65.2	60.3	59.7	・未達成 ・患者数の増加により医療収益のアップを図る。	
	実績	70.2	68.9					
病床利用率	計画	75.0	70.0	71.8	81.1	83.3	・未達成 ・看護師を確保し、1日平均70人以上を目指す。	
	実績	65.3	67.0					

3. 医療機能に係る数値目標

(単位：件)

区	分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	自己評価	点検・評価・意見
救急自動車搬入件数	計画	370	370	370	400	400	・一部達成 ・外科系の受入れが減少している。	
	実績	369	427					
健診件数	計画	1,000	1,000	1,000	1,100	1,100	・未達成	
	実績	650	697					

平成23年度備前市病院事業改革プラン進捗状況評価シート

病院名	日生病院
-----	------

1. 具体的な取組状況

区 分	実施スケジュール	進捗状況	進捗 ● 実施済 ○ 着手済 △ 検討中 未 未実施	自己評価	点検・評価・意見
○職員の意識改革					
院内会議等を通じて、職員に経営状況の周知を図り、経営について職員の意識統一を図ります。	毎年度	毎月の院内会議を通じ、病床稼働率と収益の動向、業務量の動向を理解し経費節減や病床稼働率向上による業務量拡大計画の策定を実施する。	○	・一部達成 ・継続実施	今の医療制度は、やればやるだけ収益は伸びる制度となっているが、公立病院である以上、経営黒字だけを目標にするのではなく、いかに市民や患者に貢献できるのかという視点で考えた方が、職員のモチベーションはあがるのではないかと。そういう理念をもって頑張っていたきたい。
市民の視点、患者の視点に立ち、接遇研修を継続的に実施して職員のサービス意識の高揚を図ります。	毎年度	全職員を対象とした接遇研修は年1回実施している。 一言ボックスの設置を行い、サービス向上委員会において検討・改善を実施している。	○	・一部達成 ・継続実施	事務職員のプロを育てるべく人事システムを見直しされたい。 患者への満足度調査を行い、市民の要望を把握しサービス面での向上を図ることで、市民に必要な病院と認められるよう努力されたい。
○ 事業規模、形態の見直し					
備前病院との経営統合を含めた今後の経営形態のあり方について研究します。	23~24年度	平成24年度末を目途に経営形態のあり方について研究中。	○	・未達成 ・継続実施	経営責任を明確化するため、経営形態の変化は必要である。
○ 医師確保対策					
大学医局、基幹病院への派遣協力要請を強化し、確保します。	毎年度	病院長、事務長を含め、市幹部と連携し医師派遣の要請に大学医局へ訪問する。 22年度から外科が毎日の診療となった。	○	・一部達成 ・継続実施	医師や看護師を安定的に確保するには人づくりの戦略が必要。地域医療に情熱を持ち、病院にずっといて、核となる人材を作れば人は集まるのではないかと。
退職医師等の情報を収集し、確保します。	毎年度	ホームページで情報提供し、退職医師を含めた医師確保に努める。	○	・未達成 ・継続実施	
修学資金等貸与制度の創設について検討します。	23年度	23年度中に制度化し、24年度から実施予定。	○	・未達成	
勤務形態や給与等の勤務条件の改善について検討します。	毎年度	22年度に宿日直手当を改正し、23年度に管理職手当の改正を予定している。	○	・一部達成 ・継続実施	
○ 看護師等確保対策					
修学資金等貸与制度を導入します。	23年度	22年度に制度化し、23年度から実施中。	●	・達成 ・継続実施	長期的な視点から奨学金制度を創設した点は評価するが、短期的な面でも積極的に取り組まれない。
ナースセンターへの登録や看護就職フェアへの参加など、あらゆる求人機会を活用します。	毎年度	22年度から看護フェアへ参加した。 看護学校への訪問及び看護実習生の受け入れを行った。	○	・一部達成 ・継続実施	
勤務形態や給与等の勤務条件を改善し、離職防止に努めます。	毎年度	夜間看護手当の改正を検討中。	○	・一部達成 ・継続実施	
○ 民間的経営手法の導入					
委託経費の増高に注意を払い、更なる業務委託の余地を検討します。	毎年度	委託料の実績 20年度 61,791千円 21年度 59,960千円 22年度 63,377千円	○	・一部達成 ・継続実施	継続的に対策を検討されたい。
○ 経費節減・抑制対策					
市立3病院間の医師派遣により人件費の節減を図ります。	毎年度	18年7月から備前病院より脳神経外科医の派遣を受けている。	○	・一部達成 ・継続実施	

区	分	実施スケジュール	進捗状況	進捗 ● 実施済 ○ 着手済 △ 検討中 未 未実施	自己評価	点検・評価・意見
		省エネ対策を徹底します。	毎年度 18年11月から電力量のデマンド管理を開始。 ・光熱水費（税抜き） 20年度 20,918千円 21年度 19,375千円 22年度 20,518千円 デマンド管理等を参考にしながら、引き続き経費の削減に努める。 ・燃料費（税抜き） 20年度 5,167千円 21年度 5,502千円 22年度 6,525千円 入院患者の入浴回数の変更等により、燃料費が増加しているが、患者サービスの向上を考慮しながら引き続き経費の削減に努める。	○	・一部達成 ・継続実施	市立3病院の人事交流、連携、ネットワークを強化し、費用の共通化を図ること。
		市立3病院で材料費や各種経費の共同発注、共同仕入れ、複数年契約等を行い節減します。	毎年度 医療廃棄物の委託、在宅酸素提供機器の賃借業務を共同発注、契約を一本化。	○	・一部達成 ・継続実施	
		業務委託内容を見直します。	毎年度 20年度から給食業務について複数年契約を実施。	○	・一部達成 ・継続実施	
		職員による軽微修繕、自前印刷に努めます。	毎年度 修繕料 20年度 3,757千円 21年度 4,386千円 22年度 3,848千円 印刷製本費 20年度 377千円 21年度 209千円 22年度 245千円 長期間使用している医療機器の修繕費が増加しているが、できる限り長期使用に努める。	○	・一部達成 ・継続実施	
○ 収入増加・確保対策						
		病診連携、病々連携を推進し、紹介率及び逆紹介率のアップを図ります。	毎年度 ホームページに地域連携室の業務内容について掲載し、周知を図る。 21年度から医療・介護等地域連携会議へ出席している。 ・紹介率 20年度 13.2% 21年度 13.1% 22年度 16.3% ・逆紹介率 20年度 15.2% 21年度 19.8% 22年度 21.0%	○	・一部達成 ・継続実施	地元医師会と積極的に交流を持ち、地域連携を図りたい。
		新患獲得に向け、健診・人間ドックの受診者の増加を図ります。	毎年度 1日当たりの健診、ドック受入人数を見直しする予定。 ・健診件数 21年度 435件 22年度 439件 ・人間ドック件数 21年度 92件 22年度 113件	○	・一部達成 ・継続実施	
		専門外来の設置を検討します。	毎年度 検討を行う。	△	・未達成 ・継続実施	
		一部負担金等未収金の収納強化を図ります。	毎年度 収納率 ・現年分 21年度 94.3% 22年度 95.3% ・過年分 21年度 53.0% 22年度 57.4%	○	・一部達成 ・継続実施	
○ その他						
		東備西播定住自立圏共生ビジョンに基づく医療連携を図ります。	22～26年度 22年度から赤穂市民病院を中心とした医療連携研修を実施中。	○	・一部達成 ・継続実施	

(注) 評価基準

- ・達成…計画した取組事項を実施し、具体的な成果が現れている。
- ・一部達成…計画した取組事項を実施し、一部に成果が現れている。
- ・未達成…計画した取組事項を実施していない。または、計画した取組事項を実施したが、成果が現れていない。

2. 財務に係る数値目標

(単位：%)

区	分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	自己評価	点検・評価・意見
経常収支比率	計画	101.5	103.2	101.7	102.7	102.1	・一部達成	
	実績	101.4	102.1					
職員給与比率	計画	48.6	48.9	50.2	50.9	51.9	・達成	
	実績	47.1	48.6					
病床利用率	計画	90.0	91.5	85.0	85.0	85.0	・未達成 ・入院患者の増加を図る。	
	実績	84.6	80.9					

3. 医療機能に係る数値目標

(単位：件)

区	分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	自己評価	点検・評価・意見
救急自動車搬入件数	計画	165	165	165	165	165	・一部達成	
	実績	157	185					
健診件数	計画	330	500	500	500	500	・達成	
	実績	527	552					

平成23年度備前市病院事業改革プラン進捗状況評価シート

病院名	吉永病院
-----	------

1. 具体的な取組状況

区	分	実施スケジュール	進捗状況	進捗 ● 実施済 ○ 着手済 △ 検討中 未 未実施	自己評価	点検・評価・意見	
○ 職員の意識改革							
		院内会議等を通じて、職員に経営状況の周知を図り、経営について職員の意識統一を図ります。	毎年度	毎月の院内会議を通じ、病床稼働率と収益の動向、業務量の動向を理解し経費節減や病床稼働率向上による業務量拡大計画の策定を実施する。	○	・一部達成 ・継続実施	今の医療制度は、やればやるだけ収益は伸びる制度となっているが、公立病院である以上、経営黒字だけを目標にするのではなく、いかに市民や患者に貢献できるのかという視点で考えた方が、職員のモチベーションはあがるのではないかと。そういう理念をもって頑張っていたきたい。
		市民の視点、患者の視点に立ち、接遇研修を継続的に実施して職員のサービス意識の高揚を図ります。	毎年度	全職員を対象とした接遇研修は年1回実施している。サービス向上委員会で利用者へのアンケートに対する改善や、職員への身だしなみチェックシートなど取り組んでいる。	○	・一部達成 ・継続実施	事務職員のプロを育てなければいけない。人事システムを見直しされたい。
○ 事業規模、経営形態の見直し							
		地方独立行政法人化に向けて制度の研究を行い、方向性を検討します。	23~24年度	23年度には職員に対してアンケート調査の実施、職員共済や総合事務組合にこれまでどおり加入できるか確認する。24年度末を目途に研究する。	○	・未達成	吉永病院は、地域の特性を生かし、地方独立行政法人化を早く進めるよう努力されたい。
○ 医師確保対策							
		大学医局、基幹病院への派遣協力要請を強化し、確保します。	毎年度	病院長、事務長を含め、市幹部と連携し医師派遣の要請に大学医局へ訪問する。	○	・継続実施	医師や看護師を安定的に確保するには人づくりの戦略が必要。地域医療に情熱を持ち、病院にずっといて、核となる人材を作れば人は集まるのではないのか。
		退職医師等の情報を収集し、確保します。	毎年度	各種関係協議会等で情報収集に努めているが、22年度は成果なし。	○	・未達成 ・継続実施	
		修学資金等貸与制度の創設について検討します。	23年度	23年度中に制度化し、24年度から実施予定。	○	・未達成	
		勤務形態や給与等の勤務条件の改善について検討します。	毎年度	22年度に宿日直手当を改正し、23年度に管理職手当の改正を予定している。	○	・一部達成 ・継続実施	
○ 看護師等確保対策							
		修学資金等貸与制度を導入します。	23年度	22年度に制度化し、23年度から実施する。	●	・達成 ・継続実施	長期的な視点から奨学金制度を創設した点は評価するが、短期的な面でも積極的に取り組まれたたい。
		院内保育所を設置します。	23年度	23年10月に開設予定。	○	・一部達成 ・継続実施	
		ナースセンターへの登録や看護就職フェアへの参加など、あらゆる求人機会を活用します。	毎年度	ナースセンターへは登録済み。23年度から看護就職フェアへ参加予定。	○	・一部達成 ・継続実施	
		勤務形態や給与等の勤務条件を改善し、離職防止に努めます。	毎年度	夜間看護手当の改正を検討中。	○	・一部達成 ・継続実施	
○ 民間的経営手法の導入							
		委託経費の増高に注意を払い、更なる業務委託の余地を検討します。	毎年度	・委託料の実績 20年度 96,889千円 21年度 103,224千円 22年度 101,419千円	○	・一部達成 ・継続実施	継続的に対策を検討されたい。
○ 経費節減・抑制対策							
		市立3病院間の医師派遣制により人件費の節減を図ります。	毎年度	検討中。	△	・未達成	市立3病院の人事交流、連携、ネットワークを強化し、費用の共通化を図ること。
		省エネ対策を徹底します。	毎年度	20年7月から電力量のデマンド管理を開始 ・光熱水費 20年度 28,917千円 21年度 26,108千円 22年度 26,882千円 ・燃料費 20年度 4,762千円 21年度 4,128千円 22年度 4,354千円	○	・一部達成 ・継続実施	
		市立3病院で材料費や各種経費の共同発注、共同仕入れ、複数年契約等を行い節減します。	毎年度	医療廃棄物の運搬処理委託、在宅酸素供給装置の賃貸業務を共同発注、契約を一本化。	○	・一部達成 ・継続実施	
		業務委託内容を見直します。	毎年度	20年度から給食業務委託を複数年契約。	○	・一部達成 ・継続実施	

区	分	実施スケジュール	進捗状況	進捗 ● 実施済 ○ 着手済 △ 検討中 未 未実施	自己評価	点検・評価・意見
		職員による軽微修繕、自前印刷に努めます。	毎年度 極力院内で軽微修繕や印刷を行っている。 ・修繕料 20年度 12,907千円 21年度 6,423千円 22年度 12,385千円 ・印刷製本費 20年度 2,485千円 21年度 1,254千円 22年度 2,337千円	○	・一部達成 ・継続実施	
○ 収入増加・確保対策						
		病診連携、病々連携を推進し、紹介率及び逆紹介率のアップを図ります。	毎年度 ホームページに地域連携室の業務内容について掲載し、周知を図る。 ・紹介率 20年度 7.3% 21年度 6.0% 22年度 6.6% ・逆紹介率 20年度 10.4% 21年度 8.8% 22年度 11.9%	○	・一部達成 ・継続実施	地元医師会と積極的に交流を持ち、地域連携を図りたい。
		専門外来の設置を検討します。	毎年度 21年度に神経内科、精神科を開設。	○	・一部達成 ・継続実施	
		一部負担金等未収金の収納強化を図ります。	毎年度 収納率 ・現年分 21年度 98.3% 22年度 97.3% ・過年分 21年度 66.7% 22年度 71.5%	○	・一部達成 ・継続実施	
○ その他						
		東備西播定住自立圏共生ビジョンに基づく医療連携を図ります。	22～26年度 22年度から赤穂市民病院を中心とした医療連携研修を実施している。	○	・一部達成 ・継続実施	

(注) 評価基準

- ・達成…計画した取組事項を実施し、具体的な成果が現れている。
- ・一部達成…計画した取組事項を実施し、一部に成果が現れている。
- ・未達成…計画した取組事項を実施していない。または、計画した取組事項を実施したが、成果が現れていない。

2. 財務に係る数値目標

(単位：%)

区	分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	自己評価	点検・評価・意見
経常収支比率	計画	103.4	103.2	101.8	101.7	101.7	・一部達成	
	実績	100.4	103.4					
職員給与比率	計画	47.2	47.7	48.4	48.4	48.4	・一部達成	
	実績	48.4	47.2					
病床利用率	計画	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	・一部達成	
	実績	95.1	93.7					

3. 医療機能に係る数値目標

(単位：件)

区	分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	自己評価	点検・評価・意見
救急自動車搬入件数	計画	240	240	320	320	320	・達成	
	実績	296	335					
健診件数	計画	850	850	850	850	850	・達成	
	実績	871	953					

⑥ 施策構成事務事業の評価

施策を構成する 事務事業	事務事業 評価結果 A～E (高～低)	細事業	事業分類	所 属 長 課 費 等 (単位:千円,人)						平成23年度 当初予算	施策への 貢献度 ☆☆☆ ☆☆ ☆			
				平成20年度 直接 事業費	平成20年度 間接 人工数	平成21年度 直接 事業費	平成21年度 間接 人工数	平成22年度 直接 事業費	平成22年度 間接 人工数					
9 日生病院診療事業	B	その他庶務	内部管理	2,808	12,580	1.53	15,163	12,923	1.48	5,248	4,292	0.64	5,860	☆☆☆
		収納事業(未収金対策)	内部管理	696	7,900	2.19	16,548	7,692	2.15	6,683	5,465	1.75	7,463	☆☆☆
		診療事業/入院	単市	359,297	303,488	55.11	389,250	288,873	52.50	379,783	310,548	54.27	431,078	☆☆☆☆
		診療事業/外来	単市	215,442	151,446	23.00	199,003	152,796	22.13	220,590	180,376	34.52	250,508	☆☆☆☆
		検診事業/検診	単市	699	6,553	0.80	5,021	3,855	0.52	5,051	4,130	0.56	5,640	☆☆☆
		地域連携事業	単市	0	341	0.04	456	350	0.04	0	0	0.00	0	☆☆
		相談事業	単市	0	1,957	0.26	2,700	2,073	0.28	3,275	2,678	0.32	3,657	☆☆☆
		その他医事	単市	48,155	15,650	2.18	19,211	15,257	2.16	1,331	1,088	0.14	1,486	☆☆☆☆
		病院経営(各種委員会)	内部管理	0	7,804	0.56	7,631	8,613	0.69	6,027	6,328	0.52	6,583	☆☆☆☆
		労務管理	内部管理	4,408	6,010	0.49	6,415	7,374	0.58	6,607	6,948	0.57	7,216	☆☆☆
10 吉永病院運営事業	B	施設管理	内部管理	4,188	5,710	0.63	9,180	7,106	0.83	13,329	10,071	1.15	14,559	☆☆☆
		財務管理	内部管理	6,563	8,947	0.99	8,627	7,387	0.78	6,375	5,566	0.55	6,963	☆☆☆☆
		その他庶務	内部管理	13,631	18,584	2.27	23,780	16,728	2.15	23,413	15,945	2.02	25,573	☆☆☆
		収納事業(未収金対策)	内部管理	8,867	7,063	0.98	664	405	0.06	3,477	2,671	0.30	3,798	☆☆☆
		診療事業/入院	単市	338,204	289,998	38.20	383,460	203,960	34.67	417,805	261,491	36.03	456,383	☆☆☆☆
		診療事業/外来	単市	489,147	389,633	51.61	609,090	314,123	55.07	638,752	350,140	55.11	698,057	☆☆☆☆
		検診事業/検診	単市	18,056	14,383	1.49	15,152	9,199	1.37	15,531	10,896	1.34	16,964	☆☆☆
		地域連携事業	単市	1,254	999	0.12	1,217	1,015	0.11	1,159	973	0.10	1,266	☆☆☆
		相談事業	単市	3,535	2,816	0.21	2,101	2,247	0.19	2,086	2,356	0.18	2,279	☆☆☆
		その他医事	単市	18,101	14,418	2.35	38,711	23,637	3.50	23,992	15,891	2.07	26,332	☆☆☆☆
11 吉永病院診療事業	B													

記入しきれない場合の続き